

# DB構築は個人の課題 DB統合は社会の課題

## 情報システム研究機構

国立遺伝学研究所 CIB-DDBJセンター長

ライフサイエンス統合データベースセンター 教授

# 統合DBセンターの課題

- ・ 日本の科学をデータで灌漑する
  - データの形 構造以外バラバラでいいの？
  - データの意味(メタデータ) 自由文 自由用語 でいいの？
  - データの所有権 生産者に権利あるの？
  - 「データFLOW」の確立 データ生産者だけの科学でいいの？
- ・ 日本の科学を使える知識で灌漑する
  - 日本語文書のネット公開 ブログだけでいいの？
  - 世界文書との融合 対訳インデックス不足
  - 検索資源の流通 用語集も著作権？

# OECD Principles and Guidelines for Access to Research Data from Public Funding

© OECD 2007

---

No reproduction, copy, transmission or translation of this publication may be made without written permission. Applications should be sent to OECD Publishing [rights@oecd.org](mailto:rights@oecd.org) or by fax 33 1 45 24 99 30. Permission to photocopy a portion of this work should be addressed to the Centre français d'exploitation du droit de copie (CFC), 20, rue des Grands-Augustins, 75006 Paris, France, fax 33 1 46 34 67 19, [contact@cfcopies.com](mailto:contact@cfcopies.com) or (for US only) to Copyright Clearance Center (CCC), 222 Rosewood Drive Danvers, MA 01923, USA, fax 1 978 646 8600, [info@copyright.com](mailto:info@copyright.com).

---

世界科学・文化のガイドライン

Policy Guidelines  
for the Development and Promotion  
of Governmental Public Domain Information

Paul F. Uhler

2004

United Nations Educational,  
Scientific and Cultural Organization

**PART I :**

**WHY GOVERNMENTAL PUBLIC DOMAIN INFORMATION IS IMPORTANT?**

Whereas the focus of most policy analyses and law-making is typically on the protection of proprietary information, the role and value of public domain information, especially of information produced by the public sector, is not widely enough addressed and is generally poorly understood.

#### IV. 世界最高水準の基盤の整備

##### 【基本指針】

国際的優位性の確保を目指してライフサイエンス研究を推進するためには、ゆるぎない基盤の整備が必須。融合領域は今後のライフサイエンス研究を支える重要な基盤技術であり、取組みを強化する。

##### ○世界最高水準のライフサイエンス基盤整備

- ・ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、2010年に世界最高水準を達成することを目指し、継続性の確保、研究コミュニティのニーズ等を踏まえた時代に即したバイオリソースの整備、新たな保存技術を始めた開発事業等の実施が必要。
- ・ライフサイエンス関係のデータベース整備戦略を定め、研究者の利便性と研究効率の向上を図ることが重要。
- ・インフォマティクス基盤システムの国際標準化に向け、INCF日本ノード委員会での検討結果を踏まえ対応。
- ・情報分野、ナノテクノロジー分野等で整備されつつある研究インフラを活用し、強みを活かした研究開発を推進する。
- ・現行の関連プロジェクトについては、適切な評価、方向性のもとで重点化を図るとともに、着実に推進。



「世界最高水準のパブリックドメイン」こそ  
世界最高の科学基盤だと気づくべき